

とうがねの園 とうがね? とうがネイチャー!



この冊子は、大妻女子大学家政学部児童学科3年生の学生の手によって生まれた
東金市の保育園・認定こども園を「勝手に」応援する冊子です。
市内の公立私立の園を訪れ、学生なりに考えてまとめました。
市民の皆様の保育園・こども園の理解の一助になれば幸いです。



[取材・編集]
大妻女子大学家政学部児童学科
石井章仁研究室 2025年度3年生
荒谷由夏・今井茜佳里・海老原優花・菅生彩乃・築みのり



この冊子は、大妻女子大学地域連携
推進センター「地域連携プロジェクト」
による助成を受けて東金市こども課の
ご協力の下で作成しました。

東金市の保育

保育所

| | 名称 | 住所 | 電話 | 人数 | 開所時間 | 対象年齢 |
|----|--------------|---------------|---------|------|----------------------------------|----------|
| 公立 | 第2保育所 | 田間3丁目14-6 | 52-2505 | 130人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満7か月～就学前 |
| | 第3保育所 | 前之内6-1 | 58-3908 | 70人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満7か月～就学前 |
| 私立 | 八坂台はぐくみの森保育園 | 八坂台3丁目1756-14 | 77-8292 | 105人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満3か月～就学前 |
| | わくわく保育園 東金園 | 田間3丁目36 | 86-6010 | 60人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満3か月～就学前 |

認定こども園

| | 名称 | 住所 | 電話 | 人数 | 開所時間 | 対象年齢 |
|----|----------------------|----------|---------|------|--|------------|
| 公立 | 正気こども園 | 広瀬141-1 | 58-5047 | 81人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 3歳～就学前 |
| | 豊成こども園 | 関内724 | 58-3150 | 120人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満7か月～就学前 |
| | 福岡こども園 | 砂古瀬476-1 | 54-1539 | 90人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 満3か月～就学前 |
| 私立 | ユニヴァーサル 雙葉学園 | 幸田680-1 | 55-2928 | 242人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時30分～午後4時 | 満9か月～就学前 |
| | 東金国際こども園 | 堀上71-1 | 86-7550 | 208人 | (平日) 午前7時～午後7時 (土曜) 午前7時～午後4時 | 生後57日目～就学前 |
| | 幼保連携型 認定こども園 ときがね幼稚園 | 東金1391-2 | 52-2733 | 85人 | (平日) 午前7時30分～午後7時 (土曜) 午前7時30分～午後4時 | 満3か月～就学前 |

東金市の保育所・
認定こども園一覧



東金市子育てガイドブック
ひろば2025



のぞく後ろ姿＝観察学習の姿

もくじ

東金市の保育

とうがネイチャー その1
外遊びの環境が充実! …… 2

とうがネイチャー その2
季節の遊びが充実! …… 4

とうがネイチャー その3
室内遊びも充実! …… 6

とうがネイチャー その4
こだわりある保育 …… 8

とうがネイチャー その5
食育 …… 10



● とうがネイチャー その1

外遊びの環境が充実!

公立保育所・こども園

とうがねの園の園庭はとても広く、なかには固定遊具を置いていない園もあります。子どものやりたい気持ちに耳を傾けながら一緒に遊びを作っていくことを重視しています。



保育者も一緒に外でのBBQごっこを楽しみます



どんぐりをころがして



何が見えるかな?



遊具で遊ぶ子どもたち



公立保育所、こども園を中心に、外部の有識者の巡回指導を取り入れて保育の質の向上に努めています。

私立保育園・こども園

日当たりの良い広い園庭では、子どもたちがのびのびと遊んでいます。砂場でじっくり遊ぶ子もいれば、ネットの上に寝転んでくつろぐ姿も見られ、それぞれが自分のペースで好きな遊びを楽しんでいます。



みんなで日向ぼっこ



子どもの声を聞きどこの木につくるか、どの向きがよいかを考えて設置したタイヤブランコ



はいどうぞ!



園庭で見つけた氷



築山から滑ったり、橋を渡ったり

たらいに溜まった水が冬の気温で凍り、ひっくり返すと大きい氷から割れて小さい氷までたくさん出てきました。子どもたちはそれを拾い、「冷たい」と言いながら触ったり割ってみたりして楽しめます。

● とうがネイチャー その2

季節の遊びが充実!

公立保育所・こども園

園では、季節に応じた栽培、夏のお化け屋敷ごっこ、秋の自然をつかった遊び、冬は雪や氷を生かした遊びなど、季節に合わせてその変化を感じられる遊びを行っています。



お化け屋敷ごっこ



お化け屋敷ごっこ



秋の自然とあそぶ



秋の自然とあそぶ

私立保育園・こども園

季節の遊びとして、夏には水遊び、秋にはどんぐりを使った制作やたこあげなどを楽しむ姿が見られます。子どもたちは、こうした遊びを通して季節の移り変わりを感じるとともに、日本の文化に親しんでいます。



稲を育てる



足湯で温まる



たこあげ



どろだんご



かきぞめ

● とうがネイチャー その3

室内遊びも充実!

公立保育所・こども園

園には手作りの玩具が多く、保育者と制作した消防車や掃除機などで遊んでいる姿が見られます。消防車は保育者が読み聞かせを行なった絵本をきっかけに制作された玩具であり、掃除機は保育者が掃除機をかけている様子を見た子どもが真似するようになったことをきっかけに作られました。このように、子どもたちの興味や関心を大切に、身近に親しめる環境が整っています。



室内遊び



手づくりの消防車



私立保育園・こども園

絵本コーナーで絵本を読んでいる2歳児の子ども、ホールでボールや風船で遊んでいる3歳児など、子どもは思い思いの過ごし方をします。部屋は遊びごとのコーナーになっていて、絵本コーナーで自分の好きな絵本をとって自分のスペースで読んでいます。



木材が多く温かみを感じられる園舎、床にレールを敷いて電車を走らせたり、木の机で絵本を読んだり、パーティションの間でブロック遊びをしたりと、園内の様々な場所で、子どもたちはのびのびと遊びを楽しんでいます。



● とうがネイチャー その4

こだわりある保育!

公立保育所・こども園



〈手作りの遊び場・手作りのおもちゃ〉



ダンボールで作った巨大迷路



海賊船

園には、手作りのおもちゃが数多くあります。右の写真は運転をしながら“水族館”に行こうとしている写真です。しっかりハンドルを回して、最後は「水族館に着きました」というセリフまでしっかり再現されています。行き先は水族館、動物園などいくつかのシートを用意しておき、子どもが今日は水族館に行くなどと自分たちで選んで出発していました。



かき氷屋さん



子どもたちが作った作品は保育室内に展示されています。



広い園庭



私立保育園・こども園



〈茶室と図書館のつながり〉

図書館や茶室がある園もあります。図書室の天井は高く、開放的な空間で絵本を楽しめます。土管の中を通ると隣の茶室にたどり着く、好奇心をくすぐる工夫がなされています。



茶室



茶室と図書室をつなぐトンネル



図書室

〈体を育む〉

からだの育ちを育むプログラムや環境にあふれています。



〈知を育む〉

子どもの知を刺激する、機会や環境が多くあります。



● とうがネイチャー その5

異年齢で学び合う姿がある！

公立保育所・こども園／私立保育園・こども園

年齢での交流は、子どもの「学び」です。とうがねの園には異年齢で関わり、学び合う姿がたくさんあります。



3歳児が営業するケーキ屋さん今日は大繁盛



異年齢でかかわる



バツタを埋めてお別れ



上の子の姿がモデル



周囲の自然の不思議さや美しさに触れ、心が揺れる「感性」を養う

子どもは、周囲の自然に直接かかわり、そこから自然の不思議さや美しさを感じます。そうした場面で心が動く感性＝「センス・オブ・ワンダー」を養うことができるのは、東金の自然があってこそです。

● とうがネイチャー その6

[食育] 地産地消の豊かな食材で
子どものからだを作る

公立保育所・こども園／私立保育園・こども園

各園では、園内の調理室で、毎日美味しいご飯とおやつが作られています。調理室から香る美味しそうな匂いにつられて「今日のご飯何かなー?」と覗きにくる子どもたちもいます。食材のありがたみを感じるための時間を持ち、食材の育つ過程を観察します。そして、食材に触れる機会を通して「食べる意欲・感謝の気持ち」を育てる取り組みが多くあります。友達や保育者とお話しながら、楽しい空間で美味しいご飯を食べることは、子どもの身体だけではなく心も満たしていく大切な時間となります。



食事のディスプレイや調理する場面を見る子どもと昼食のディスプレイ



みんなで食べるご飯はおいしいね



子どもは遊びながら学び続ける

0歳児でも5歳児でも、子どもは遊びを通して学び続けます。保育者はそうした子どもの興味・関心に気づき、その子どもにあった手段で、学びを引き出します。異年齢の子どもを観察して模倣することも子どもの典型的な学びのスタイルです。